

総会報告

豊富な話題と絶妙な語り

実行委員長 長谷部 恵美子 (S42年卒)

平成二十四年度は、六月三十日、東京第一ホテル米沢の会場での開催となりました。担当は、「2・3」のつく学年でした。

この学年は、活動的な方が多く、研修会の講師をきめるのにたくさんの方々の名前が挙がりました。その中から今回は、YBCの芳賀道也氏を迎えての研修会となりました。

元々がアナウンサーとあって、話術も話も豊富でした。取材先で出会った方々の話や大人気となった『方言かるた』作りの裏話など、絶妙な語り口で爆笑の連続でした。

懇親会にもご参加いただき、ゲームの出題から参加賞の準備までと、最後までみなさんを楽しませていただきました。

アトラクションでは、九里学園在校生による「ダン



ス部」の披露がありました。若さ溢れる彼女たちの姿に、応援の心も込めて大喝采でした。また、昭和四十三年卒業の本田清子さんの歌も披露されました。本田さんは、日ごろから老人施設などをボランティアで慰問活動されているとのことでした。

若い同窓生のかたの発表の場なども設定していけば、もっとたくさんの方の同窓生に参加していただけるものと思います。

私は夏は陸上競技、冬はスキートの新聞記事の記録を見るのが楽しみです。本校生や卒業生の活躍がたくさん載っているからです。同窓生の皆さんも、きつと同じ思いでしょう。

二〇〇一年卒業の女子ジャンパー・小浅星子さんが、国内の今季開幕戦で二勝を上げて、ようやく派遣の六人枠に入り、ドイツで開催されるワールドカップ大会に参加することになったとの記事を見つけました。最近は高校一年十六歳の高梨沙羅選手が世界一を獲得して注目の的になっているため、国民の関心も高くなってきました。その先鞭を付けた頃の選手が小浅さんたちです。

細やかな気配りが長寿番組をつくる

芳賀さんの講演を聞いて

芳賀道也さんのお話の中で、特に印象に残っているのは、山形県の方言をカルタで面白く、わかりやすく紹介したところでもあります。読み手のCDには方言の解説もあり、カルタを通して、たくさんの方が山形の方言の温かさに触れられると思います。

また、人気番組「はじめてのおつかい」の裏話では、何家族かのものを撮影し、一番面白いものを放送するのだそうです。放送されなかった家族には、本物と全く同じようにナレーションを入れ、DVDとして渡しているそうです。そうした細やかな気配りが、長寿番組として続いているのだらうと思います。

(H二十三年卒 鈴木沙有理記)

ワールドカップは二十三位とランクを上げて、今年一月のNHK杯で優勝。二月に札幌と蔵王で開催されたワールドカップにも日本代表として出場しました。

現在は、『ライズジャンプクラブ』というクラブチームで活動をしています。スポンサーがない彼女は、アルバイトなどで練習や大会参加の活動資金を得て頑張っていると言います。ソチオリンピックで正式種目となった女子ジャンプです。是非、本校初のオリンピック選手にと期待しています。多くの同窓生の皆さんからも、彼女への応援よろしく願っています。



学園近況

めざせ！オリンピック！

女子ジャンプ 小浅星子さん(H13年卒)

学校長 九里 廣 志